

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|                                  |  |  |
|----------------------------------|--|--|
| 事故等番号                            | 2009横第85号  |  |
| 事故等種類                            | 衝突   |  |
| 発生日時                             | 平成21年4月5日（日） 14時00分ごろ  |  |
| 発生場所                             | 京浜港東京第2区 お台場海浜公園の西側出入り口付近<br>(概位 北緯35°37.5′ 東経139°45.9′)   |  |
| 事故等調査の経過                         | 平成21年4月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。   |  |
| 事実情報<br>船種船名、総トン数<br>船舶番号、船舶所有者等 | A モーターボート <sup>かいおう</sup> 海王丸、5トン未満（長さ6.56m）<br>280-33868東京、個人所有<br>B 水上オートバイ <sup>ジービー</sup> GP-R <sup>アール</sup> 、5トン未満（長さ2.51m）<br>240-53696千葉、個人所有  |  |
| 乗組員等に関する情報                       | A 船長、一級小型船舶操縦士<br>B 船長、一級小型船舶操縦士   |  |
| 死傷者等                             | A なし<br>B 負傷 1人（船長B）   |  |
| 損傷                               | A なし<br>B 操縦ハンドル及び前部ハッチ取付け部を損傷   |  |
| 事故等の経過                           | A船は、平成21年4月5日、船長Aが1人で乗り組み、約8ノットの速力で、お台場海浜公園の西側出入り口（以下「西側出入り口」という。）付近を航行中、船長Aは、14時00分ごろ船体に衝撃を感じたので、停船して回りを見渡し、A船とB船が衝突したことを知った。<br>B船は、船長Bが友人を乗せ、西側出入り口付近を遊走していたところ、衝突の5～10分前に転覆し、落水した船長Bが船体を起こして乗ろうとして操縦ハンドルに手を伸ばしたとき、A船がその上を通過し、船長Bが右中指及び小指に骨折を負った。 |  |
| 気象・海象                            | 気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視界 良好<br>海象：潮汐 高潮時  |  |
| 分析                               | 乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析  | あり<br>なし<br>なし<br>A船は、西側出入り口付近を航行中、右方の西側出入り口から現われたモーターボートの動向や西側出入り口の様子を見るのに意識を集中させていたことから、B船がA船の前路に存在することに気付かなかったものと考えられる。 |
| 原因                               | 本事故は、A船が西側出入り口付近を航行中、西側出入り口から現われたモーターボートの動向などに意識を集中させて転覆状態のB船に気付かず航行したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。   |  |

